

コラム 2 校務情報システムの現状と動向

校務情報化を支援するソフトウェアおよびシステムは、以下の4つに分類できる。

- (1) 教員等が表計算ソフトなどを利用して作成したもの
個人や小規模なグループ内で利用される。
- (2) 成績処理、保健統計など学校内の個々の業務を支援する市販ソフトウェア
個々の業務用につくられており、業務間の連携は一般にははかれていない。
- (3) 学校内の業務を包括した総合的なシステム
学校内の文書管理、成績管理、時数管理、コミュニケーションなどをトータルにサポートし、業務間の連携をはかることができる。
- (4) 学校および教育委員会の業務を包括した総合的なシステム
学校内の文書管理、成績管理、時数管理、コミュニケーションなどをトータルにサポートし、業務間の連携をはかることができる。教育委員会とネットワークを介して連携し、学籍・就学、就学援助、給食管理などの業務を支援する。

学校では、(1)や(2)のレベルのソフトウェアが利用されているケースが圧倒的に多いが、(3)のレベルでの利用を行っている学校も増えており、さらには、(4)のレベルのシステムを教育委員会として導入し、地域の学校で共通利用できるようにしているところも少しずつ増えてきている。

以下、(3)(4)のレベルで利用できる代表的なシステムについては、資料3に紹介する。